

研究課題名	メニエール病症例の治療方針に関するレジストリ解析
研究の意義・目的	メニエール病は、回転性めまいや感音難聴を発作的に繰り返すことを特徴とする疾患であり、発作時には日常生活動作や社会生活が制限されます。このため、発作抑制のコントロールが治療において重要です。治療は、中耳加圧療法や内リンパ嚢開放術などの外科的療法、内耳を破壊するような療法があります。本研究はメニエール病に対する各治療法の有効性を明らかにする研究を立案する目的の、探索的な研究です。
研究を行う期間	研究機関の長の実施許可後～ 2024年1月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2019年1月～2024年1月に大阪公立大学医学部附属病院耳鼻咽喉科で、メニエール病と診断された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 患者基本情報：年齢、性別、職業、飲酒、喫煙、運動習慣、ストレス、合併症、疾患(患側、罹患期間日数、再発日時) 治療(保存的療法、中耳加圧療法、内リンパ嚢開放術、ゲンタマイシン鼓室内注入) めまい発作回数/月、Visual analogue scale(めまいの苦痛度)、Dizziness Handicap Inventory(めまいの重症度)、他疾患の合併(良性発作性頭位めまい症など) 聴力検査 耳鼻咽喉外来で行っている通常の一連の平衡機能検査(問診、検査)
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院耳鼻咽喉病態学で行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院耳鼻咽喉病態学で行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉病態学 研究責任者 三輪 徹
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉病態学 (担当者氏名)三輪 徹 電話番号:(06)6645-3871 メールアドレス:t-miwa@omu.ac.jp